

みやざき 県議会の動き

No.81
10
2021

令和3年10月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



8月臨時会

8月臨時会の概要

8月臨時会は、8月25日の1日間で開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受けて、県が「まん延防止等重点措置」の適用を国へ要請したこと等に伴い、令和3年度宮崎県一般会計補正予算第12号及び専決処分3件が提案又は報告され、慎重な審議を行った結果、すべての議案を原案のとおり可決又は承認しました。

このうち補正予算第12号では、飲食店等や大規模集客施設に対して営業時間短縮要請等に伴う協力金を支給する経費など約86億円が増額され、その結果、一般会計の予算規模は、約6,627億円となりました。

各常任委員会の審査概要

総務政策常任委員会では、県民に対する経済活動等の自粛を一層求めることになることから、より丁寧に、正確な情報発信に努めることと併せて、効果的な支援策を迅速かつ適確に実行するよう要望しました。

厚生常任委員会では、「感染症対策休業要請等協力金事業」に関して、まん延防止等重点措置の適用により営業時間短縮要請に罰則があることも含め、事業について早急かつ十分な周知を図り、事業者間における不公平感が生じないよう、市町村と連携して巡回等による監視を強化するなどの対応をしっかりと行うよう要望しました。

商工建設常任委員会では、飲食店等への営業

時間短縮要請に伴い、直接的に大きな影響を受けた飲食関連事業者等を対象に、1事業者当たり月額10万円を支給する「飲食関連事業者等緊急支援事業」について、疲弊している飲食関連事業者等を下支えするため、これまでの支援策の効果をしっかりと分析するとともに、国の交付金を有効に活用するよう要望しました。

◀総務政策常任委員会



◀厚生常任委員会



◀商工建設常任委員会



◀議長定例記者会見



常任委員会

常任委員会は、所管部局の施策について幅広く調査し、また、議案などを適切に審査するために、県議会の閉会中にも委員会の開催や現地調査を行っています。ここでは、それぞれの委員会の最近の活動を紹介します。

総務政策常任委員会

総合政策及び行財政対策を所管しており、県の総合計画、県税、危機管理、地域の活性化等について審査しています。

7月委員会 県当局から、F-35Bの航空自衛隊新田原基地への配備等について説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 LPWAを活用したスマートシティ化の取組(高鍋町)、食を通じた持続可能な地域づくりの取組(椎葉村)、気象・災害情報収集の取組(宮崎市)、県陸上競技場建設予定地(都城市)、地域活性化の取組(串間市)など計11件の現地調査を行いました。



山之口運動公園(都城市)

厚生常任委員会

福祉保健行政の推進及び県立病院事業を所管しており、福祉、保健衛生、医療等について審査しています。

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症の対応状況や本県の自殺の現状等について説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 障がい者就労支援事業所の取組(西都市)、西臼杵郡における公立病院連携の取組(高千穂町)、西臼杵子ども・障がい者ネットワークセンターの取組(高千穂町)、子育て支援総合拠点施設の取組(延岡市)、ドクターカーの導入(延岡市)、ひきこもり支援・心のケア・依存症対策の取組(宮崎市)の計6件の現地調査を行いました。



県立延岡病院(延岡市)

商工建設常任委員会

商工観光振興対策及び県土整備の推進を所管しており、商工業や観光の振興、企業の誘致、道路や河川の整備等について審査しています。

7月委員会 宮崎海岸の侵食対策と宮崎港一ツ葉地区防砂堤設置工事について、現地調査を行いました。

県内調査 地元産原料を使用した焼酎製造と輸出(日之影町)、家屋浸水被害を防ぐ水防防災事業(延岡市)、重要港湾細島港の整備促進及び今後の利活用(日向市)、グランピング施設(えびの市)、都城志布志道路の整備状況(都城市)、「花みどり」を活用した美しい宮崎づくり(宮崎市)など計11件の現地調査を行いました。



一ツ瀬川(宮崎市)

環境農林水産常任委員会

環境対策及び農林水産業振興対策を所管しており、環境や農業、林業、水産業の振興等について審査しています。

7月委員会 県当局から、スマート農林水産業推進の取組及び第12回全国和牛能力共進会に向けた取組について説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 石山地区におけるGPSを活用した鳥獣被害対策の取組(都城市)、県産木材を活用した宮崎キネマ館のリニューアル(宮崎市)、大人ジビエ振興協議会のジビエ利活用促進への取組(日之影町)、有限会社前田産業の木質バイオマス供給施設整備(日向市)など計9件の現地調査を行いました。



有限会社前田産業(日向市)

文教警察企業常任委員会

教育及び警察行政の推進並びに公営企業の経営を所管しており、学校教育、警察、県が行う電気事業、工業用水道事業等について審査しています。

7月委員会 宮崎県立佐土原高等学校及び宮崎県警察学校の現地調査を行いました。

県内調査 コロナ対応の留置施設(高鍋町)、義務教育学校の取組(美郷町)、宮崎県企業局北部管理事務所(日向市)、重要文化財指定を受けた旧綱ノ瀬橋梁及び旧第三五ヶ瀬川橋梁(延岡市、日之影町)、駐在所の建て替えについて(延岡市)の計5件の現地調査を行いました。



県立佐土原高等学校(宮崎市)

特別委員会

特別委員会は、県政の重要課題のうち特定の課題について、その解決に向けた提言ができるよう、1年を通じて専門的な調査を行っています。ここでは、それぞれの委員会の最近の活動等を紹介します。

新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症の農水産分野における影響、雇用維持と人材育成のための支援や農畜水産業の更なる成長産業化の取組等について説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 総合農業試験場の試験研究リモートワーク推進事業の取組(宮崎市)、県立高鍋農業高等学校のコロナ禍における教育実習の取組(高鍋町)の計2件の現地調査を行いました。



総合農業試験場(宮崎市)

地域振興対策特別委員会

7月委員会 県当局から、県内事業者の企業成長支援と事業承継促進の取組や企業等の人材確保支援について説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 オンデマンド交通システムを導入した移動手段確保の取組(新富町)、産業振興と企業の人材確保の取組(宮崎市)、官民協働の地域振興の取組(日南市)、古民家再生とサイクリストの観光拠点づくりの取組(串間市)の計4件の現地調査を行いました。



新富町

働き方改革・産業人材確保対策特別委員会

7月委員会 県当局から、建設業及び介護・看護分野の人材確保・育成対策、外国人材受入れについて説明を受け、質疑を行いました。

県内調査 宮崎労働局の「えるぼし認定・くるみん認定」などの取組(宮崎市)、えびの電子工業(株)の女性が働きやすい職場づくりに関する取組(えびの市)、宮崎福祉医療カレッジの外国人留学生の受入れなどの取組(日南市)、アース建設コンサルタント(株)の外国人高度技術人材の育成・紹介に関する取組(宮崎市)など計5件の現地調査を行いました。



えびの電子工業株式会社(えびの市)

9月定例会のご案内

広報番組のテレビ放映

●放映内容

代表質問、常任委員会の審査状況、議案の採決結果等

代表質問者 **日高 博之** 議員(宮崎県議会自由民主党)
右松 隆央 議員(宮崎県議会自由民主党)
岩切 達哉 議員(県民連合宮崎)
河野 哲也 議員(公明党宮崎県議団)

●放映局 **MRT宮崎放送** ※放映日時は変更になる場合があります。

●放映日時 10月28日(木) 午前10時25分～11時20分
 10月29日(金) 午前10時25分～11時20分

県議会をもっと皆さんの身近に感じていただけるように、「開かれた県議会」の取組の1つとして、テレビ広報を行っています。

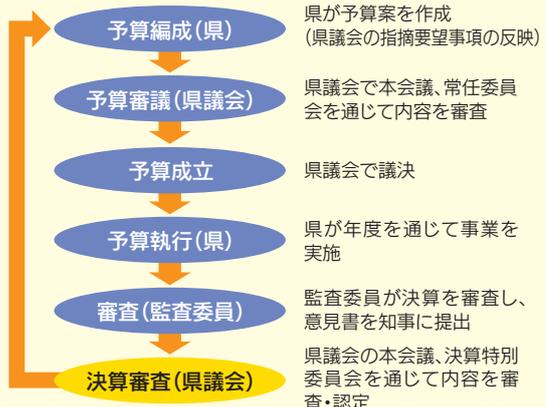


また、過去1年間に放送した広報番組を、動画配信サイトYouTubeの「宮崎県議会公式ちゃんねる」にて配信しています。

9月定例会決算審査

9月30日(木) 本会議、決算特別委員会
 9月30日(木)～10月4日(月) 決算特別委員会(分科会)
 10月7日(木) 決算特別委員会
 10月11日(月) 本会議(9月定例会閉会日)

●予算・決算の流れ



高速道路網の早期整備に向けた取組

ミッシングリンクの早期解消、

暫定2車線区間の早期4車線化等を目指して



県議会では、東九州自動車道及び九州中央自動車道の整備促進を図るため、県内の市町村、市町村議会、各種経済団体など約150団体に参画いただいて「高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会」（会長は県議会議長）を組織し、半世紀以上にわたり国や関係機関への粘り強い陳情・要望活動に取り組んでいます。本期成同盟会をはじめとした活動により、今年3月に東九州自動車道の4車線化の優先整備区間のうち「高鍋～西都」間の一部が4車線化の事業箇所として決定されたことに加え、今年8月21日に九州中央自動車道の一部を形成する国道218号高千穂日之影道路の「日之影深角～平底」間が完成し、全線開通するなど、本県の高速道路は着実に整備が進んでいます。

今年7月21日には、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った上で県議会議

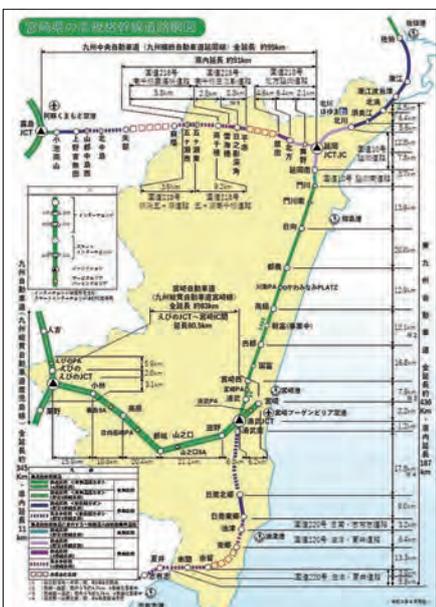
員や知事をはじめ、各市町村長や経済団体の代表など約110名が出席して、本期成同盟会の総会を開催しました。

総会では、道路関係予算の確保や東九州自動車道及び九州中央自動車道の早期整備、暫定2車線区間の早期4車線化や高速道路利用者の安全性・利便性向上などを国等に強く要望することを満場一致で決議しました。

本県における高速道路の整備は、産業の活性化や観光交流はもとより、地域の個性ある発展にとって極めて重要であり、早期完成は県民の悲願となっています。

また、南海トラフ地震等の大規模災害への備えとして、救援物資や救急医療の代替・支援ルートとなる「命の道」として、高速道路の早期整備は急務となっています。

県議会では引き続き、県民の皆様とともに、県内の高速道路網の早期整備に向けて全力で取り組んでまいります。



■ 県議会本会議・委員会を傍聴することができます。

傍聴の際は、マスク着用や手指の消毒、検温の実施等、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

本会議の傍聴（県議会議務局 総務課 TEL:0985-26-7215）

本会議を傍聴するには、傍聴券が必要です。傍聴券は、本会議の当日午前9時30分から、県庁2号館入口の傍聴者受付で先着27名（車いす利用者用4席を含む。）に交付することとしています。なお、午前9時30分までに上限数を超えている場合は、抽選となりますが、傍聴控室でのモニター視聴も可能です。また、インターネットによるライブ中継・録画映像の配信も行っておりますので、そちらもご利用ください。

委員会の傍聴（常任委員会：議事課 TEL:0985-26-7216 / 特別委員会：政策調査課 TEL:0985-26-7217）

委員長の許可を得れば傍聴することができます。定員は各委員会とも10名です。委員会の当日午前9時30分から、議会議棟2階正面玄関の議会受付でお申し込みください。

■ 県政に対する要望や意見を提出することができます。

県民の皆様の県政に対する要望や意見を請願として県議会に提出することができます。採択された請願は、県の行政の中に取り入れられるように知事に送付したり、国に対して意見書を提出します。



▲ 県議会HP



▲ 県議会HP
キッズページ



▲ 県議会公式
facebook

令和3年11月定例会

11月定例会は、11月25日(木)から12月13日(月)までの日程で開催される予定です。
※ 日程は変更になる場合があります。